

政策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	5-2	政策名	持続可能で健全な 財政経営	政策の 目指す姿	財政を健全に維持しています	政策 主管課	財政課	政策主管 課長名	松田 英基	
			政策の方針	今後、人口減少による財政規模の縮小が懸念されるとともに、合併による優遇措置が終了することから、より一層健全な財政の維持に向けて取り組む必要があります。 そのために、適正な財政規模への移行と最小の経費で最大の効果を生み出すための財政運営を進めます。また、市税等自主財源の確保に努めるとともに、施設の長寿命化など市有財産の適切な管理を図ります。							

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H25 (基準年度)	H26	H27	H28	H35
経常収支比率	義務的性格の強い経常経費に、一般財源がどの程度充当されているかを見ることにより、財政構造の弾力性を判断する指標。現状より弾力性がある80%台前半を目指します。	地方財政状況調査	%	目標値	/	85未満	85未満	85未満	85未満
				実績値	82.7	86.0	87.1	-	
実質公債費比率	地方公共団体の財政規模に対する借金返済額の大きさを示す指標。現状より健全な数値を目指します。	地方財政状況調査	%	目標値	/	13未満	13未満	13未満	12未満
				実績値	12.4	11.3	10.5	-	
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
B	・経常収支比率は、経常経費充当一般財源が業務委託料等の物件費、福祉関係経費の扶助費、補助費等の増により490,957千円増となったのに対し、臨時財政対策債発行額が171,000千円減となったことなどにより、前年度1.1%増となった。 ・実質公債費比率については、過去3年間の平均値で算出されるが、これまでの発行抑制による元利償還金の減少や交付税措置の高い起債の発行に配慮したことにより改善傾向にある。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H25	H26		H27		H28		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度		
1	適正な財政規模への移行										
2	自主財源の確保										
3	市有財産の適正な管理										

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
B	各種財政指標から、概ね健全な財政運営が行われていると捉えているが、今後は人口減少による税収の減少や合併算定替の縮減などにより、これまでと同様の一般財源の確保が期待できない一方、扶助費等の増加が見込まれる。 このことから、今後も引き続き民間委託の推進や補助金等の見直しのほか、使用料手数料や応援寄付金の見直し、不要財産の処分等により、一層の財源確保に努めていく必要がある。また、施設の老朽化に伴う維持管理経費のさらなる増大が懸念されることから、今年度策定予定の公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点をもって市有財産の効率的な管理と有効活用を推進する必要がある。

成果指標達成度	A				
	B				
	C				
	D				
		④	③	②	①

政策に対する施策の達成度

5 政策を構成する施策一覧

施策名	適正な財政規模への移行	施策の成果指標の達成状況	H26		H27	
1	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歳入に見合った適正な財政運営に向けて、引き続き事務事業の見直しをはじめ民間委託の推進や負担金補助金、使用料手数料の見直しなどにより、経常経費削減に取り組む必要がある。 ・ また、地方債残高は、県内他市や類似団体に比しても多いことからできる限り縮減に努める必要がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間委託可能な業務を洗い出し委託実施に向けて担当課と調整する。 ・ 第三セクターの経営状況改善に向けて、改善策や今後の団体のあり方について検討する。 ・ 今後数年は大型事業の実施により市債残高の増加が見込まれる。今後も発行に際しては交付税措置の手厚い記載メニューを優先するなどにより、将来負担の軽減を図る。 ・ 市民や議会、外部への財務状況のわかりやすい財務状況の開示と、財政運営や政策形成の基礎資料として活用するため、固定資産台帳の整備など新地方公会計制度の導入を進める。 					
2	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イーハートブ花巻応援寄附金の記念品選定については、一定の節度を持って実施することが必要である。 ・ 寄付件数の増加に対応した事務体制やシステムの導入が必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イーハートブ花巻応援寄附金寄付者に対する記念品の選定にあたっては、総務省の要請事項に留意し、花巻の特産物の掘り起しに努める。 ・ イーハートブ花巻応援寄附金に係る事務については、管理システムを導入し効率化を図る。 ・ 税関係については、一層の公平かつ適正な課税と収納に努める。 ・ 郵便局窓口での税等の納付を可能とする。 					
3	<p>【課題】</p> <p>大量の市有財産の効率的な管理や有効活用を推進するためには、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化を計画し、財政負担の軽減・平準化を図る必要がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>公共施設等総合管理計画(基本方針編)を策定する。(H28年度末までに計画策定予定)</p> <p>※公共施設等の老朽化・利用状況等の現況、将来の人口や中長期的な維持管理・修繕・更新等に係る経費や充当財源を見通し、①公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針 ②施設類型(道路、学校・・・)ごとの管理に関する基本的な方針を盛り込んだ計画を策定する。</p>					